

岐阜県立土岐商業高等学校

校 長 山 内 志 文  
 学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1  
 電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 令和3年度 岐阜県立土岐商業高等学校 学校運営協議会（第1回）

2 会議の構成（敬称略）

参加者	会 長	竹下 啓太	あいちビジネス専門学校 校長
	副 会 長	安藤 道弘	土岐市土岐口財産区 議長
	委 員	市川 昌代	株式会社カーム 代表取締役社長
		楓 康代	土岐地区更生保護女性会理事
		近藤 久也	東海旅客鉄道株式会社 土岐市駅長
		堀江 千里	元土岐商業高等学校育友会役員

学 校 側	山内 志文	校長
	林 勇二	教頭
	吉田 孝夫	事務長
	宮地 佳予	教務部
	鬼頭 克好	生徒指導部長
	寺澤 喜孝	進路指導主事
	水野 直樹	商業部長

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 開催日時 令和3年6月10日（木） 13:30～16:00

5 開催場所 本校 会議室

6 会議の概要（協議事項）

(1) 校外から見た本校の生徒について

意見1：職場の同僚に土岐商業生はどんなイメージか聞いたところ「真面目」「見かける生徒は姿勢がよい」「横断歩道で挨拶を返してくれる」など日頃の教育の大切さがわかる。

意見2：「土岐市挨拶デー」を昨年7月におこなった際に、本校の生徒も参加してくれた。気持ちのいい挨拶で声を出して参加してくれたのが印象深い。今年もお願いしたい。

(2) 授業のICT導入について

意見1：タブレットはコロナ終息後どのように使われるか。

⇒現在、タブレットの自宅持ち帰りを一部で実施している。元々、タブレットの導入は授業のICT化を推進するため県全体で取り組んでいる。本校でも引き続き教員研修を校内で実施し「MetaMoji Classroom」や「Microsoft Teams」などの活用が一層進む

ように日々研究している。

(3) 地域との連携について

意見1：ふるさと教育を始め、商品開発等でコラボして取り組むことから地域に育てられている感じがする。現在、魅力的で応援したいと思える学校になっているし今後も続けてほしい。

意見2：卒業生が活躍し、その積み重ねで今があると思う。今年度はコロナ禍で有効求人倍率が下がっているかもしれないが、生徒には就職できる会社ではなく、就職したい会社選びをしてほしい。

(4) 本校の学校運営方針や広報活動について

意見1：各分掌からの説明や作成されたDVDの映像で学校の目標や取組がわかる。また、SNSの活用を通じて貴校のことを知ってもらえるような仕組みがあることがわかった。

意見2：学校広報の重要性と位置づけを明確にするとよい。特に中学生と保護者に向けてが最も大切である。

意見3：広報として情報発信する際は、生徒目線でHPの作成をおこなった方がインパクトもあって面白いと思う。生徒からアイデアを募集してみるとよい。

7 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・昨年度は書面開催であったが、本年度は第1回として一堂に介しスタートが切れた。今回の開催で委員の方々から意見を得られ、大変意義深い協議会となった。これからは計画から実行に移す段階となり、寄せられた意見に対してはスピード感をもって1年間進めていきたい。